

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) ネスレ日本(株) 姫路工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針



私達は、環境保全活動の取組みに関するネスレの基本理念、基本方針及び姫路工場としての行動指針をここに表明し、ISO14001を適用したネスレ環境マネジメントシステム(NEMS)を運用して、積極的かつ継続的な環境保全活動を推進します。

#### 基本理念

私達は、地球環境の保全が地球上のすべての生物にとって最重要課題であることを認識し、企業活動のすべての面で、地球環境の保全に配慮して行動します。そして世界をリードする栄養・健康・ウェルネス企業として、消費者のクオリティ・オブ・ライフ向上のために努力し、持続的に共通価値を創造していくことを私達の責務とします。

#### 基本方針

私達は次に掲げるネスレ日本グループの持続可能な環境方針に従い、企業活動を推進していきます。

1. ネスレは、「企業は社会から認められてはじめて事業活動を行う資格がある」と考えています。そして持続的発展をしていくために、常に環境保全を考えて事業活動を行います。私達は、消費者の皆様がお金を払う価値のある環境に配慮した高品質な製品を提供していきます。
2. ネスレは、天然資源の保全とエネルギー節約、廃棄物や排水・温室効果ガスの削減に取り組みながら、環境保全に配慮した事業を継続的にを行います。
3. ネスレは、法的及びその他の要求事項(スイス本社からの要求事項を含む)を順守します。製品・包装及びその製造工程と輸送工程で常に環境に配慮し、マネジメントシステムに沿った活動の中で環境に対して継続的な改善と新しい投資をしていきます。
4. ネスレは、良き企業市民として地域と連携し、CSV(共通価値の創造)活動を通して積極的かつ継続的に環境問題に取り組むとともに、社員が地域の中でもそれぞれの分野で環境問題に関わり、社会に貢献することを指導していきます。

#### 姫路工場の行動指針

「活用する資源とそのロス削減により、地球環境への負荷を低減しよう」をスローガンに、ネスレ姫路工場として、環境の継続的な改善を実施していきます。また、全社的に取り組んでいるNCE(Nestlé Continuous Excellence)を目指し、積極的かつ体系的に改善活動を進め、全員参加で取り組んでいきます。

1. 世界有数のソリュブルコーヒー製造工場として、事業活動に伴う環境側面を適正評価し、環境関連の法律、規制、協定、ネスレ内部規定を順守します。特に法令及びネスレ内部規定に記載された諸管理項目については、定期的かつ効果的な順守監視システムを確立・運用し、その報告された測定結果に基づいて、汚染の予防、並びに環境負荷をさらに低減するための対策・改善を策定、実施していきます。
2. 環境側面への影響評価により、毎年工場及び部門毎の環境目標を定め、積極的な環境保全活動と定期的な見直しを行い、システムの充実とパフォーマンスの継続的な向上を図っていきます。
3. 環境保全活動を推進するため、工場内の全ての組織及び社員が活動できる環境管理組織を充実し、全社員への環境教育を積極的に展開していきます。また、社員が各々の分野で積極的に環境保全活動に取り組めるように、TPM活動に代表される改善活動と関連付けし、推進していきます。
4. 姫路工場が環境に与える影響のうち、特に以下の項目については優先的にその活動を推進していきます。
  - 1) コージェネレーションプラントと流動床ボイラー及びその付属機器の有効活用及び最適化に加え、生産設備での漏れの撲滅を推進し、エネルギー使用量及びGHG排出量の削減を図っていきます。
  - 2) 天然資源の保全のため、水の使用量・包材の使用量・紙の使用量の削減に努力していきます。
  - 3) 廃棄物のリデュース・リユース・リサイクルに英知を結集し、分別を徹底して埋立廃棄物を削減します。
  - 4) 環境内部監査を効果的に実施し、自主管理と速やかな対処によるネスレ環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。
  - 5) 環境教育・啓蒙活動等を計画的に推進し、全社員へ環境方針等の理解と意識の高揚を図るとともに、委託業者や契約業者等の外部協力者へも環境方針を周知し、理解と協力を要請していきます。
  - 6) 環境方針を、姫路工場の環境活動の紹介として官庁関係・地域住民にも公表します。
  - 7) 地域コミュニケーションの一貫として、公的機関及び近隣コミュニティーとも連携し、姫路工場の環境CSV(共通価値の創造)活動、特に水環境保全に係る環境教育支援を推進していきます。

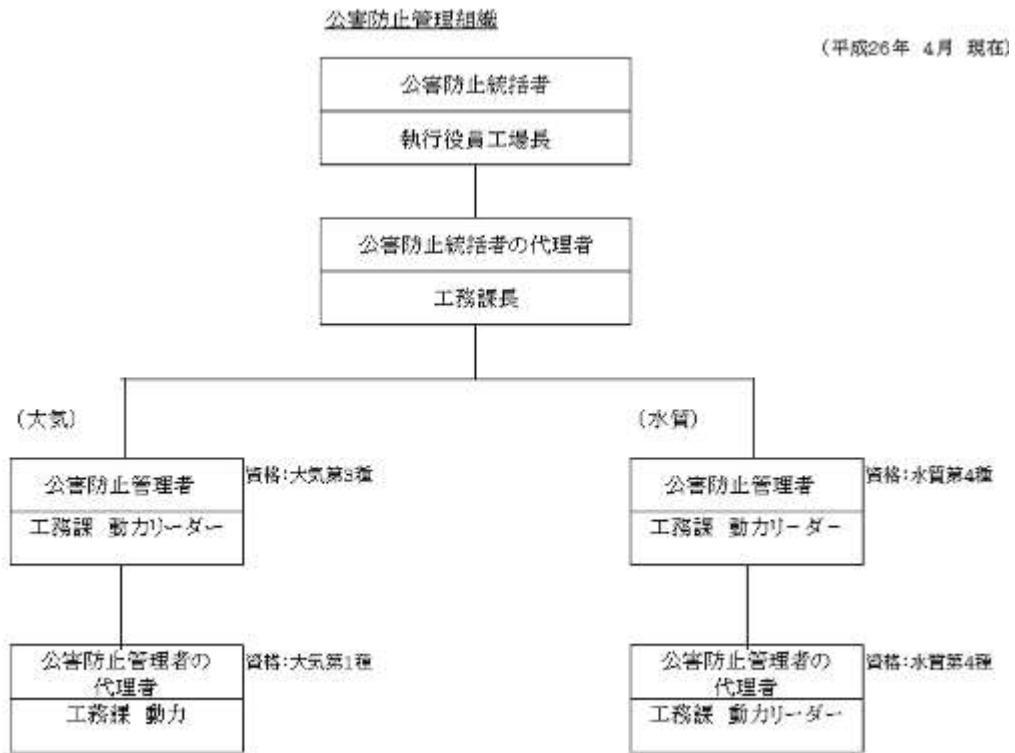
平成24年1月1日 改訂

ネスレ日本株式会社

姫路工場 工場長: 井鍋 喜友

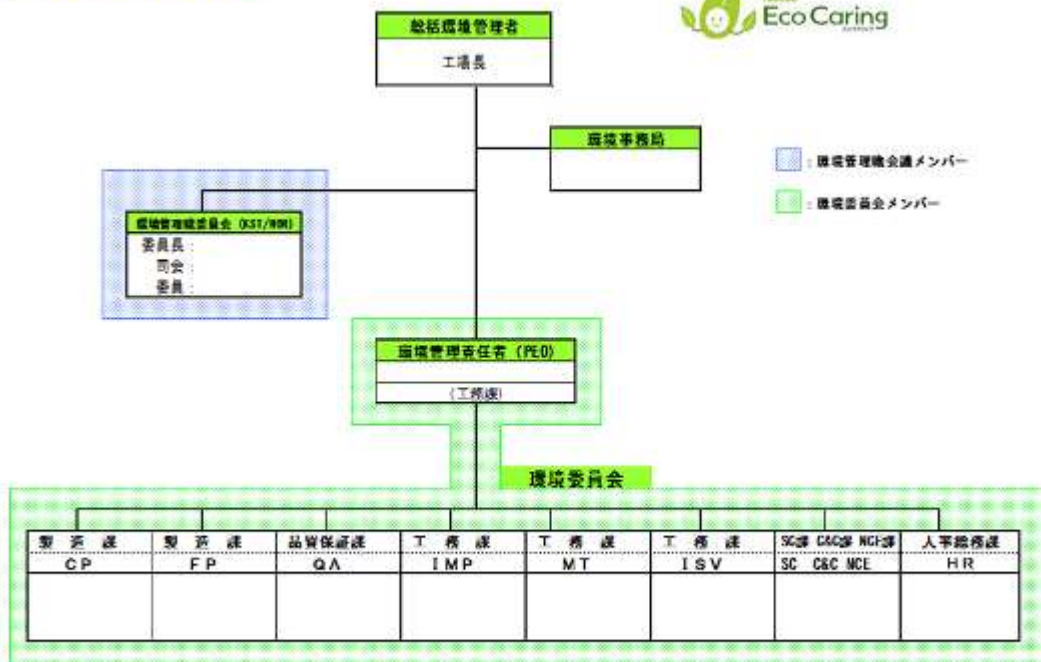
平成26年1月8日 継続維持確認

1-2 環境保全活動に関する組織体制



**環境組織図 2014**

姫路工場



## 2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	エアリークチェック スチームトラップ診断、漏れ箇所修理 大型冷凍機の計画停止、等の活動により、結果 エネルギー使用量(原単位) 4.0%削減 水使用量(原単位) 7.3%削減	エネルギー使用量 (原単位)の削減 昨年対比2.5%減 水使用量3%減
環境マネジメントシステム	ISO14001の更新審査の実施・合格 審査日:2014年1月29日	環境マネジメントシステムの継続的改善
地域社会活動への参加	事業所周辺の清掃活動の実施 近隣小学校の環境教育「ため池教室」への支援活動 近隣小学校へのプロジェクトWET(環境教育プログラム)、および環境施設の工場見学 環境美化活動 国道の側溝の清掃	地域の環境保全活動・環境教育啓蒙活動を積極的に支援する